

1. 次期四日市市総合計画 主要課題の抽出と整理

現総合計画における主な成果・実績

【土地利用・環境】

- 拠点駅周辺の整備
- 産業活動活発化に資する臨海部空間の整備
- 都市基盤の再整備や北勢バイパスの整備促進
- 6次産業化やGAP取得など農業のビジネス化の促進
- 温室効果ガスの削減に向けた支援策の拡充
- 公共施設の省エネルギー・新エネルギー設備の導入
- ごみの適正な処理・処分と3Rの取組の推進
- 「四日市公害と環境未来館」の整備
- 本市の取組の国内外への発信、環境教育の推進

【産業・市民活動】

- 臨海部コンビナート地区における操業環境整備
- 高付加価値型への構造転換や研究開発機能の集積
- 地域資源を生かした観光産業の振興と情報発信
- 中心市街地における商業・文化・福祉・医療施設の充実
- 市民、市民活動団体、企業との参加と協働の促進

【交通・港湾・防災】

- 内部・八王子線を公有民営方式に移行・存続
- 交差点や渋滞ネック箇所の整備による渋滞の解消
- 歩行者や自転車にとって安全安心な道路空間づくり
- 霞4号幹線の整備など港湾機能の強化並びに利用促進
- 市民・市民活動団体、企業と連携した地域防災力強化
- 消防力の強化や消防救急体制の充実

【健康・医療・福祉・人権】

- 多様な保育サービスや学童保育の充実
- 子育て不安や悩みに対するワンストップ相談体制の整備
- 在宅での療養をサポートするシステムの整備
- 市立四日市病院の整備充実
- 健康教室や食生活改善のための活動
- 虐待やDVなどの防止に向けた体制の強化

【教育・文化・スポーツ・生涯学習】

- 本市独自の小中一年生における30人学級編制
- 幼保小中連携型一貫教育としての「学びの一体化」
- 四日市版コミュニティスクールの推進
- 不登校・いじめの未然防止、早期解決のための体制作り
- 学校の統廃合を含めた学校規模等の適正化に向けた取組
- 遊休化した公共施設の活用による三浜文化会館の整備
- 平成30年度全国高等学校総合体育大会と2021年三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた施設整備
- 自治会等の地縁団体の活性化や担い手育成のための支援
- 市民活動団体の育成・強化に向けた生涯学習機会の充実
- 多文化共生のまちづくりの推進
- 市民ニーズに合った図書館づくりに向けた機能の充実

次期総合計画策定に向けた主な検討課題

【土地利用・環境】

- 暮らしの質を高めるコンパクトなまちづくり
- 賑わいのある魅力的な中心市街地の形成
- 既存住宅地の若返り施策の展開
- 農業の6次産業化やブランド力アップへの取り組み
- 先進技術の導入による効果的な営農の実現
- 地球温暖化対策と四日市版スマートシティの形成
- SDGsを見据えた環境先進都市への取り組み

【産業・市民活動】

- グローバル競争を勝ち抜く！産業の機能強化と人材育成
- 臨海部コンビナートの持続的な活用と機能強化
- 市内外への効果的なシティプロモーション
- 四日市に交流を創出する観光施策の推進
- 市民が日常的な買い物や不便なくできる環境の整備
- 地域課題解決に向けたアイデアや行動力を持つ人材育成
- 新たな市民協働のプラットフォームづくり

【交通・港湾・防災】

- スーパー・メガリージョンに対応した交通政策
- 地域公共交通の維持と利用しやすくなる環境づくり
- 自動運転・AIを活用した交通基盤の実現
- 広域道路ネットワークと連携した都市内幹線道路の整備
- 地域の暮らしを支える生活道路の整備
- 多様なものづくり産業への物流面からの支援強化(港湾)
- 港町としての魅力的な都市空間の創造
- 地震や集中豪雨等の災害に備えた事前対策の強化
- 最優先で命を守るための“防災人づくり”

【健康・医療・福祉・人権】

- 「多様な働き方」に対応した保育サービスの提供
- 「小1の壁」打破に向けた放課後児童の居場所づくり
- 男女がともに輝き子育てが尊重される職場づくりの推進
- 地域の子育てを応援する仕組みづくり
- ライフスタイルに合った介護スタイルの支援
- 在宅医療の希望がかなう体制づくり
- 医療・介護に頼らず人生100年時代を生きる体づくり
- いきいきと暮らせるこころの健康づくり
- あらゆる人権課題に対する市民の人権意識の高揚
- 子ども・高齢者への虐待や暴力、DVの防止

【教育・文化・スポーツ・生涯学習】

- AIでは補えない人間力を育てる教育
- 支援を必要とする子どもへの対応
- 子育て支援と教育との新しい連携や仕組みづくり
- 多世代の担い手による伝統文化の保存・継承
- 身近な場所でスポーツを楽しむことができるまちづくり
- 地域のつながりを大事にしたコミュニティの強化
- 人生百年時代を楽しんで生きるための生涯学習機会充実

四日市市の特徴

【市民生活に関する都市比較】

「安心度」「快適性」「利便性」「成長力」「裕福度」の5項目について、同格・類似都市との比較では、全体的に標準的水準を上回っている。

- 成長力・利便性 →やや高い
- 安心度 →やや低い

【人口の見通し】

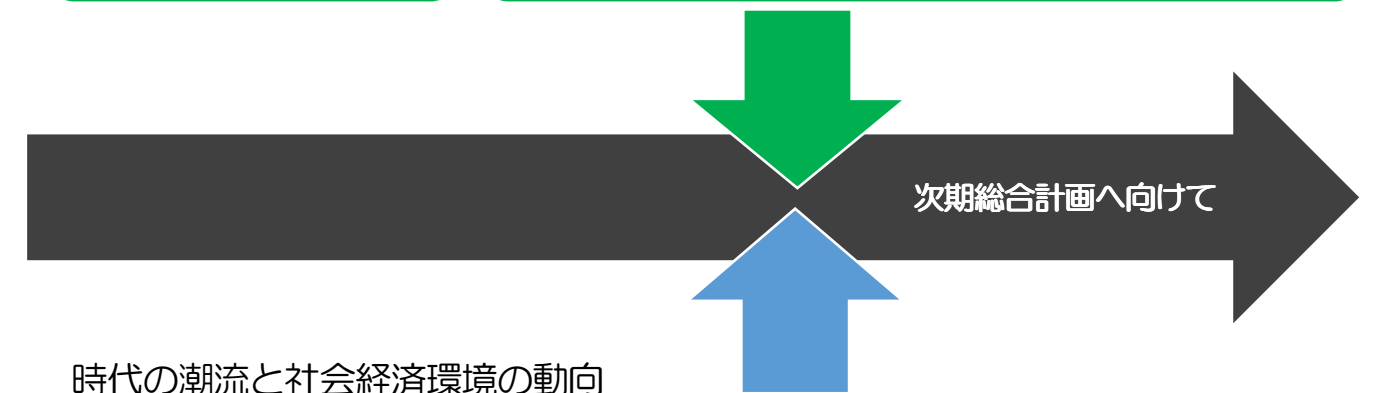
312,539人(2015)
 ⇒303,041人(2030)
 ⇒280,269人(2045)

人口が増加する地区：6
 人口が微減する地区：4
 人口が減少する地区：14
 (2015⇒2030)

市民の声(抜粋)

- 大都市に近い利便性を生かし、他市から四日市へ来てもらう街づくりを
- 東海地区No.1の中心市街地の形成にチャレンジしてほしい
- 中心市街地から郊外に向けた放射線状道路の整備と高規格化道路の整備でもっとヒトが集まりやすくしてほしい。
- 産業集積、コンビナート、四日市港などへの誇りや愛着の醸成を
- 地区市民センターを拠点とした市民交流や情報発信をもっと活発に
- 四日市の情報や魅力をもっと共有、相互に発信を
- 若者・子育て世代・年配の方が一緒に防災について学べる場所がほしい
- 災害時に行政を待たずに地域が動けるよう資機材の充実を
- バスや鉄道公共交通をもっと利用しやすく
- かかりつけ医と患者の信頼できる関係性の構築支援
- 障害者への医療費助成の拡充
- 学童保育所の待機児童解消、機能の充実
- 高齢者が余生を過ごしやすい環境の整備
- 公園整備や地域活動の充実など、子どもが集まれる工夫が必要
- ICT技術を活用した見守りや教育などの充実

※総合計画キックオフシンポジウム、市政アンケート、WEBアンケート(子育て世代・若者世代・通勤通学者)、高校生アンケート、高校生と市長との懇談会より抜粋



時代の潮流と社会経済環境の動向

国際的な影響

- グローバリゼーションの進展に伴うアジア圏における都市間競争の激化
- 食糧・水・エネルギーの制約、地球環境問題の深刻化
- 「持続可能な社会」の実現(SDGs)に向けた取組の広がり

国内での影響

- 「2020年改革」で大きく変動する教育環境と未来を拓く人材の育成
- 成長の時代から成熟の時代への構造転換と社会情勢の変化スピードの加速
- IOT・AI・ロボット等の劇的な技術革新による「第4次産業革命」への対応
- リニア・高速交通網整備の進展による「スーパー・メガリージョン」の形成
- 南海トラフ地震等の国難規模の災害への備え
- インフラ・家屋等の老朽化と都市空間の遊休化

暮らしへの影響

- 少子高齢化社会と人口減少社会の本格的な到来
- 人生100年時代に向けた健康意識の高まりと働き方の見直し
- 価値観やライフスタイルの多様化と生活格差の拡大

2. 次期四日市市総合計画 全体構成骨子案（議論のための叩き台）

2030年の四日市 ～課題を乗り越え、輝き続けるために～

次期総合計画（2020年度～2029年度）

Next ～2040年頃

- 人口吸引力は健在
- 段階的に税収が減少
- 団塊の世代が75歳に
- リニア開通（東京⇄名古屋）

未来の姿 10年後

将来都市像「○○○○○○○○」

キーワード：元気、存在感、未来、期待、安全、安心、幸福、成長、発展、進化、創造、牽引、快適、中枢、中核、産業、環境、イノベーション、チャレンジ、など

※次の10年間で、どのようなまちを創りたいか、どう変えたいか簡潔で分かりやすいキーワードを用いて設定する予定

未来地図をどう描く？

- 【人口】**
 - ・30代、40代の子育て世代が増加し、転出に歯止めがかかっている
 - ・出生率が上昇し、まちの将来を担う若年層が増加している
 - ・総人口は横ばいで推移し、30万人以上を維持している
- 【社会】**
 - ・人権と多様な価値観が尊重され、機会の平等が確保されている
 - ・支えあいの中で子育てや介護の負担が減り、ライフスタイルに合った働き方ができている
 - ・アクティブシニアの働く場、活動の場が増え、生涯を通じて自分らしく暮らしている
- 【都市】**
 - ・都市機能が集積した、利便性、安全性、快適性が高い市街地が形成されている
 - ・地域どうしが公共交通を軸に結ばれ、多核的にネットワーク化した構造になっている
- 【生活】**
 - ・地域ぐるみの健康づくりが定着し、健康寿命が延びている
 - ・多様なコミュニティの中で、お互いを思いやり、支えあう良好な関係ができている
 - ・水素や再生可能エネルギーの活用により、世界最先端の低炭素な暮らしができている
- 【産業】**
 - ・日本を代表する産業都市として、人口と経済力を牽引する存在感を放っている
 - ・産学官の連携により、地域課題を解決する多様な産業が起これ、地域経済が循環している
 - ・AIやIoTを活用した本市発の産業技術が、快適な暮らしづくりに貢献している



「持続可能な社会」の実現 (SDGs)を視野に入れて

オール四日市で取り組む協働・共創のまちづくり

地域資源等を活用した都市の発展

四日市市が持つ都市の可能性と地域資源を生かし、新しいまちの価値を創造していく

連携・協働による生活の質の向上

市民・事業者・市が連携・協働して地域課題を解決し、生活の質を高めていく

まちづくりの基本的な考え方 ～新時代へ対応するための発想の転換～

- 「ないものを補う」から「あるもの・つながりを生かす」、持続可能なまちづくりへ
- “人口維持と経済規模の拡大”に“市民の幸せと満足度の向上”をプラスして
- 課題に向き合い、挑戦を続け、失敗からも学びとる、先手・創造型の都市経営へ
- 遠くて近い2040年。今後の10年が勝負の分かれ目
- 誰かがやってくれるわけではない。自助あつての共助

次期四日市市総合計画〔2020-2029〕 全体構成骨子案

基本構想

将来都市像



基本目標

基本目標〔10年間〕

- (1) 誰もが安心・安全に暮せるまち
- (2) 未来を先どる元気で活力あるまち など

(※) 基本目標を置くことを想定しているが、今後の検討によっては、まちづくりの理念・方向性・戦略などを示すこともありうる

◆将来人口 ◆土地利用 ◆都市機能の高次化 など

基本計画

分野別基本政策

「生活満足度の高い上質な都市」の実現に向け、市民の暮らしに関わるまちづくりの8つの分野において、様々な取組を行います。〔10年間 ※5年後にアップデート〕



- 生活・居住：人と人がつながり、自分らしい生活がおくれるまちへ
- 健康・福祉：地域社会で健やかで幸せに暮らせるまちへ
- 防災・消防：不測の災害に対しても対応可能な、しなやかで強いまちへ
- 文化・スポーツ・観光：港町としての歴史と文化・スポーツ・観光の息づくまちへ
- 交通・にぎわい：誰もが使いやすい交通手段が整い、次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまちへ
- 産業・港湾：人とアイデアが融合し、新たな価値が創造されるまちへ
- 環境・景観：環境に優しく、良質な景観のある持続可能なまちへ
- 教育・子育て：やさしく、たくましく、しなやかに生きる力を持った元気な子供が育つまちへ

重点的横断戦略プラン

将来都市像の実現に向け、特に力を入れて取り組むべき課題について、分野横断型の戦略プランとして重点的に推進します。〔5年間〕

子育てするなら四日市 + (プラス)

リージョン・コア YOKKAICHI

人生100年 元気に四日市生活!

<創造>

<革新>

<持続>

※各プランについて、わかりやすい数値目標を設定する予定

推進計画

基本構想・基本計画を具体化するための実施事業を示した計画(※毎年ローリング方式)